



# ECOHiLUX

エコハイルクス

## 高気密 S<sub>B</sub>形 LEDダウンライト 埋込穴径φ125

このたびはお買い上げいただきましてありがとうございます。お使いになる方や他の方々が、危害や損害を被ることがないように、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。

### ▲ 安全上のご注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※素人工事は法律で禁じられております。器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。※工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。※ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示したご注意は、お使いになる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

#### ▲ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

#### ▲ 注意

誤った取り扱いをすると、人がケガをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

#### ☒ 図記号の意味

☒ してはいけない「禁止」内容です。❗ しなければならない「強制」内容です。

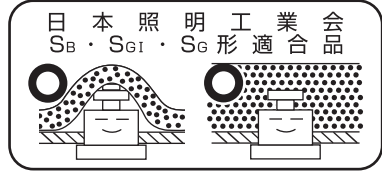
## 施工者様へ

### ▲ 警告



#### 特殊な施工(断熱、防音など)天井に取り付けない

日本照明工業会、断熱施工用S<sub>B</sub>形ダウンライト適合品です。ブローイング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できます。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。



#### 点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切ってください。放置しますと火災・落下によるケガの原因になります。



#### 取り付け及び保守作業の際は、必ず電源を切る

通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電や器具破損の原因になります。



#### 器具重量に耐える所に取り付ける

ロックウールなどのやわらかい造営画に取り付けしないでください。造営材破損や器具の転倒・落下による火災や感電の原因になります。



#### 施工は、施工説明にしたがい確実に行う

施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定にしたがって行ってください。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因になります。



#### 水平天井か55度までの傾斜天井に取り付ける

器具は、水平天井か55度までの傾斜天井に取り付けてください。壁取り付けなどされると、器具落下・感電・火災の原因になります。



#### 調光器に取り付ける際は、調光器対応LEDダウンライトを使用する

調光対応のダウンライトを取り付ける際は、位相制御方式の調光器を使用してください。



#### 可燃物に近づけない

器具を布や紙の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけないでください。また、ドアの開閉範囲や家具などが近づかない場所に取り付けてください。近すぎると被照射物の変形・変色・火災の原因になります。



#### 分解や改造はしない

器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

### ▲ 注意



#### 定格電圧100V±6%以内の電源電圧で使用する

電源電圧が、器具に表示された定格電圧の±6%以内であることを確認してから、器具の取付、配線を行ってください。誤って使用すると、短寿命・火災の原因になります。



#### 屋内で適正温度で使用する

この器具は屋内で、かつ、-5～35℃の範囲でご使用ください。高温で使用すると短寿命・火災の原因になります。



#### 湿気が多い場所、雨水のかかる場所に取り付けない

屋外や雨の吹き込みを受ける場所、湿気・水気のある場所には取り付けしないでください。湿気により絶縁不良となり、漏電や感電の原因になります。



#### 使用中・使用直後に触らない

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。やけどの原因になります。



#### 高温・直射日光・振動・腐食性ガスの発生する場所に取り付けない

高温(35℃を越える場所)、直射日光の当たる場所、酸などの腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。器具の腐食や落下の原因になります。



#### さびの出やすい場所、粉塵・引火性ガスの発生する場所に取り付けない

粉塵の多いところ、または引火性ガスのあるところでは使用しないでください。発熱・発煙・発火の原因になります。



#### 振動・衝撃をあたえない

振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。落下や器具破損の原因になります。

## お客様へ

### ▲ 警告



#### 点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店にご相談ください。放置しますと火災・落下によるケガの原因になります。



#### 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない

器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。



#### 分解・改造しない

器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。



#### 可燃物を近づけない

器具を布や紙の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけないでください。また、家具などを近づけないようにしてください。近づけすぎると被照射物の変形・変色・火災の原因になります。



#### 破損器具を使用しない

器具が破損した状態で使用しないでください。すぐに電源を切り、工事店・電気店に修理を依頼してください。そのまま使用しますと、感電・火災の原因になります。



#### 光を直視しない

点灯時、ランプを直視しないでください。目を痛める場合があります。



#### 使用中・使用直後に触らない

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。やけどの原因になります。



設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。数年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。点検せずに長時間使用を続けると、まれに、発煙・発火・感電などの原因になります。※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)

## 使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

## ご使用に関するお知らせ

- LEDユニットは交換できません。
- LEDにはパルクがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照明点灯時に発光するスイッチに使用した場合、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- 照射面や照射距離が近い場合、光ムラが発生する場合があります。

## お手入れ方法

- お手入れの際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 器具の清掃には、水または薄めた中性洗剤を浸し、固く絞った柔らかい布を使用してください。洗剤拭きのあとは、洗剤が残らないように拭き取るため、水拭きしてください。水拭き後は水気を拭き取るため、から拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因になります。

## 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

#### ■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。詳しくは保証規定をご覧ください。

#### ■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理致します。

#### ■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

#### ■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理致します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にお買い上げ日を特定できるものをご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限らせていただきます。保証期間内におきましても、その他の保証は致しかねます。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
  - ①使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
  - ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
  - ④お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
  - ⑤お買い上げ日を特定できるもののご提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

**アイリスオーヤマ株式会社**

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お問い合わせはお気軽にアイリスコールに  
[アイリスコール] 受付時間 9:00～17:00

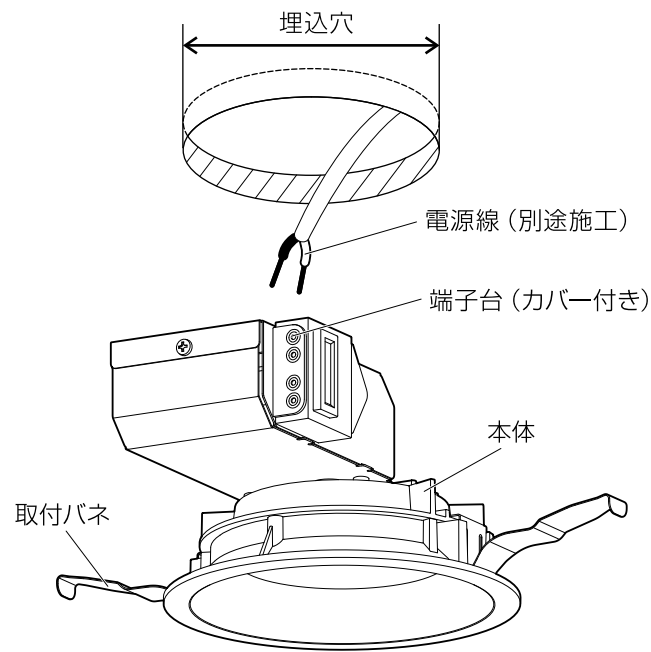
**0120-311-564**

## お願い

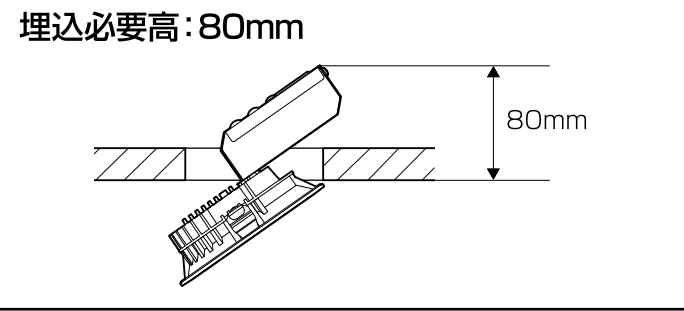
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 間引き点灯の場合は、分岐回路を設け、そのスイッチで消灯してください。

# 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)  
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店またはアイリスコールまでご連絡ください。)



## ■付属品



保護チューブは必要に応じて裂いて使用する

**注意** 保護チューブは短く切らない。

# 仕様

調光	品番	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	色温度 (K)	消費電力 (W)	入力電流 (A)	演色性 (Ra)	LEDモジュール寿命 (h)	器具重量 (Kg)
調光非対応	LSB125-0650NCW-V1	AC100	50/60	5000	5.7	0.1	85	40,000*1	約0.5
	LSB125-0627NCW-V1			2700	5.7	0.1	85		
	LSB125-0850NCW-V1			5000	6.9	0.12	85		
	LSB125-0827NCW-V1			2700	6.9	0.12	85		
	LSB125-1050NCW-V1			5000	9.8	0.16	85		
	LSB125-1027NCW-V1			2700	9.8	0.16	85		
調光対応	LSB125-0650DCW-V1			5000	6.7	0.09	85		
	LSB125-0627DCW-V1			2700	6.7	0.09	85		
	LSB125-0850DCW-V1			5000	8.0	0.11	85		
	LSB125-0827DCW-V1			2700	8.0	0.11	85		
	LSB125-1050DCW-V1			5000	11.3	0.15	85		
	LSB125-1027DCW-V1			2700	11.3	0.15	85		

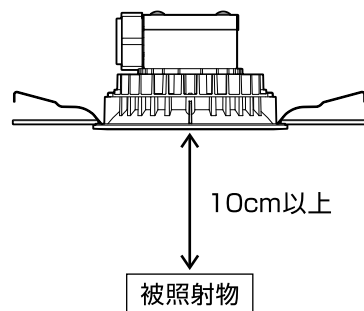
\*1 LEDモジュール寿命は、LEDが点灯しなくなるか定格光束が70%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。  
\*商品の仕様は予告無く変更することがあります。

## 調光時の注意

- LEDダウンライト単体では調光はできません。調光には位相制御方式の調光器が必要です。
- 調光時にちらつきが発生するときは、ちらつきが発生しない位置に調光器を操作して使用してください。
- 電圧の変動によって、ちらつきや立ち消えが発生することがあります。電力消費量の多い家電(ドライヤー、掃除機、電子レンジなど)を使用すると電圧の変動が起こり、ちらつきや立ち消えが発生することがあります。
- 調光器の種類によっては、ちらつくことがあります。
- 調光器やランプからわずかに音がすることがありますが、異常ではありません。
- 調光したときの明るさや電力の変化は電球とは異なります。
- 調光器のつまみを絞って消灯させても電力は消費しています。長時間消灯する場合は、電源スイッチを切ることをお勧めします。
- 0%に近い明るさの状態でも電源を切り、電源を再投入した場合は、点灯までに時間がかかったり、点灯しない場合があります。この場合は、一度100%の明るさに操作すると点灯します。
- 複数の調光器を使用した場合、影響あってちらつくことがあります。
- 複数のLEDダウンライトを1つの調光器で制御する場合は、個々の消灯、点灯のタイミングや明るさに違いが出ます。

## 照射距離について

- 器具の直下10cm以内に家具・ドアなどの可燃物を近づけないでください。被照射物の火災・変色のおそれがあります。



# 取付け方

**注意** 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

### 1 施工前の確認

器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保してください。壁面、ロックウール等のやわらかい天井には取付けないでください。

●表面に1mm以上の凹凸のある天井はザグリをし、平らにして取り付けてください。そのまま取り付けると、光モレ・気密性の低下の原因になります。

### 2 安全確保のため、電源を遮断する

**警告** 電源を切らないで作業した場合、感電の原因になります。

### 3 天井に埋込穴をあける

特殊な施工(断熱、防音等)天井に取り付けられない日本照明工業会、断熱施工用S<sub>B</sub>ダウンライト適合品です。フローリング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できます。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。

日本照明工業会  
S<sub>B</sub>・S<sub>G1</sub>・S<sub>G</sub>形 適合品

### 4 電源線を接続する

端子台カバーのストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、付属の保護チューブ(L:250mm)をつけてから接続端子に確実に差し込みます。このとき電源線は器具から離して施工します。送り配線は照明器具専用とし、付属の保護チューブ(L:250mm)を使用して配線を行ってください。(送り容量6A以下)はずす時は解除ボタンをマイナスドライバーで押しこみ、電源線を引き抜きます。

**警告** 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合や、電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

**注意** 取付部の強度が不足していたり、埋込穴寸法が指定より大きい場合、器具落下や光漏れの原因になるので、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

埋込穴寸法	φ125 <sup>+2mm</sup> <sub>-0mm</sub>
天井材厚	5~25mm

解除ボタン  
カバーをつきやぶる  
保護チューブ※(L:250mm)  
電源線  
送り側

端子台(カバー付き)

適合電線  
Cuφ1.6・φ2.0単線  
14mm

※保護チューブは短く切らずに使用する。

### 5 配線方法について

配線は、器具本体に接触させたり無理に折り曲げないでください。感電や火災の原因になります。

### 6 本体を取り付ける

①取り付けパネを内側に押さえ ②端子台側から埋め込み穴に斜めにいれる ③本体をゆっくりと押し上げ、確実に固定する

**注意** 本体は確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合は、落下の原因になります。

**注意** 電源端子が天井の棧などに当たらない様に取り付けてください。

※本体を取り外す場合  
本体を取り外す際は、ゆっくりと器具を引き下げます。その時に、取り付けパネを内側に押さえる様にして取り外してください。

<傾斜天井に取り付ける場合>  
端子台が傾斜の下側を向くように取り付けてください。  
55°まで